

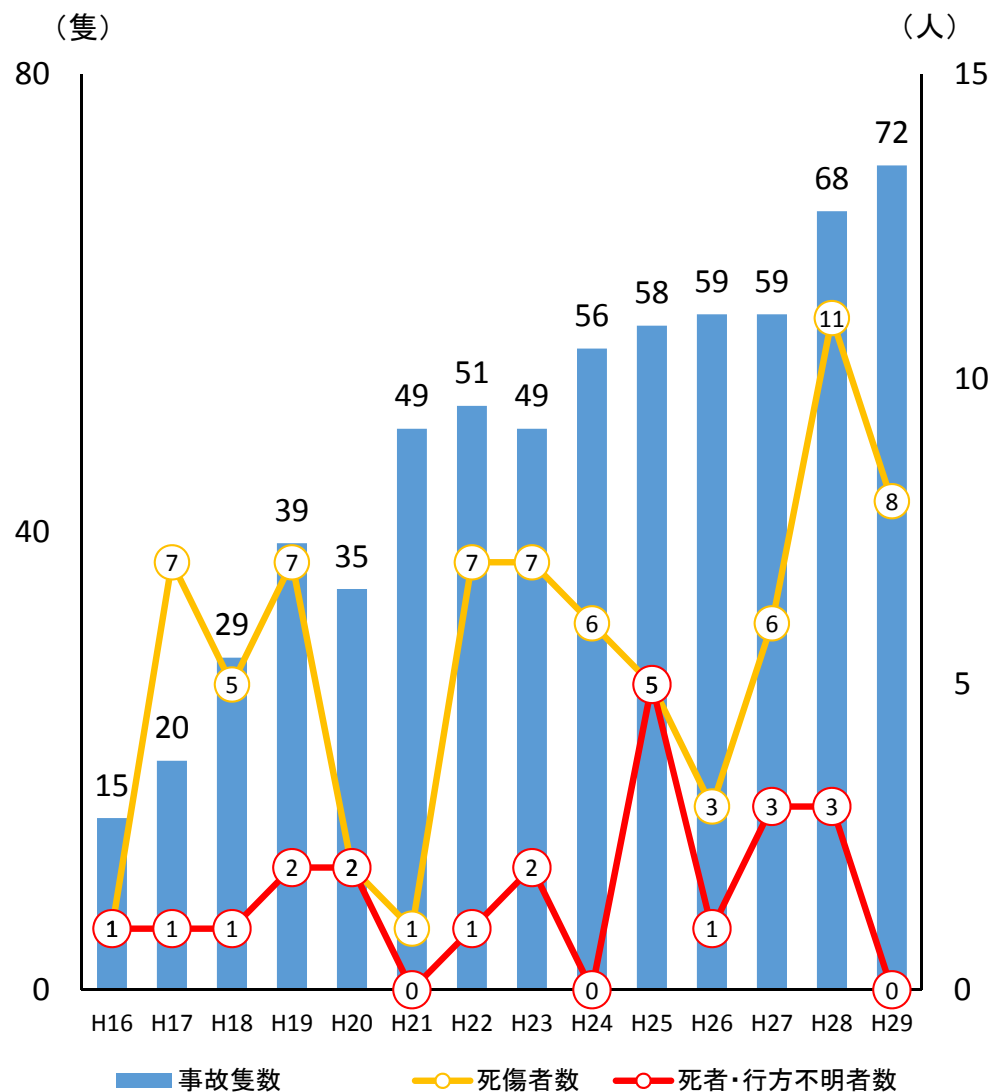
≡二ボートの事故発生状況

安全対策課

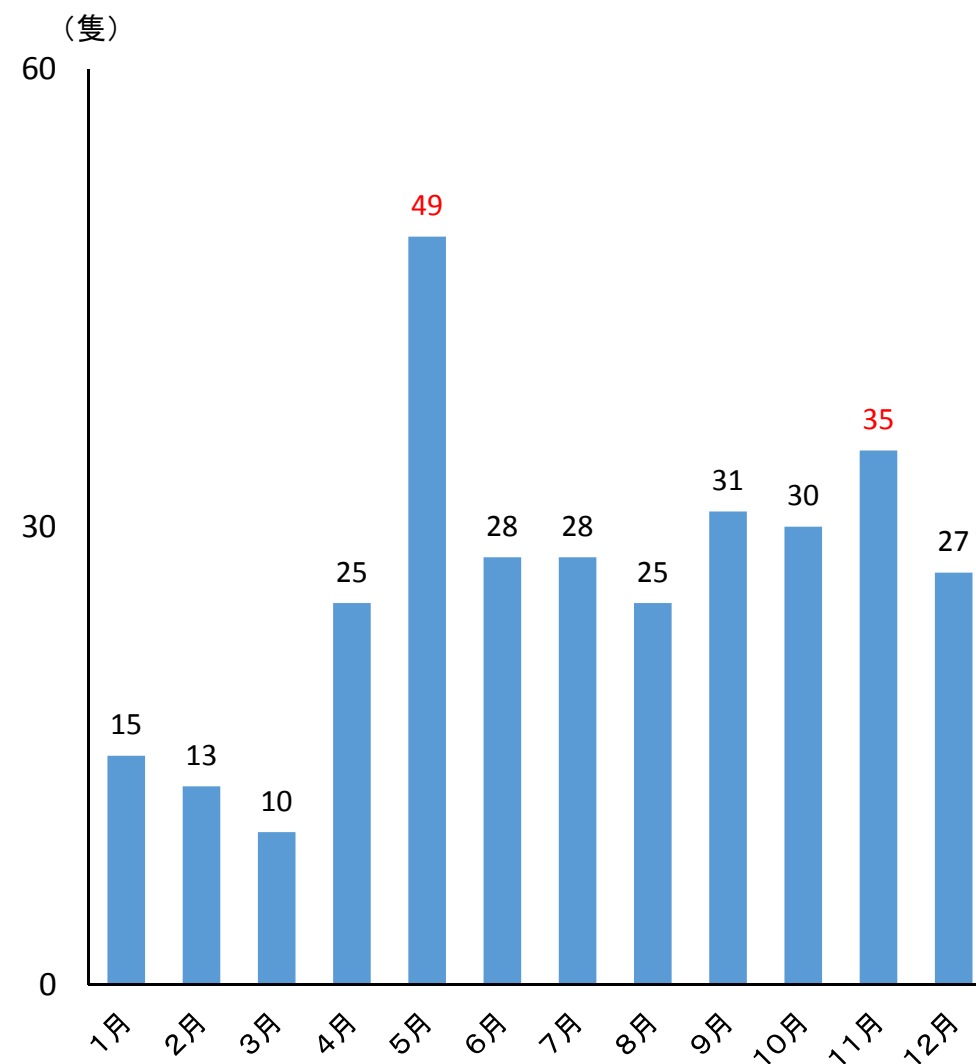
平成30年7月



【年別事故発生状況】



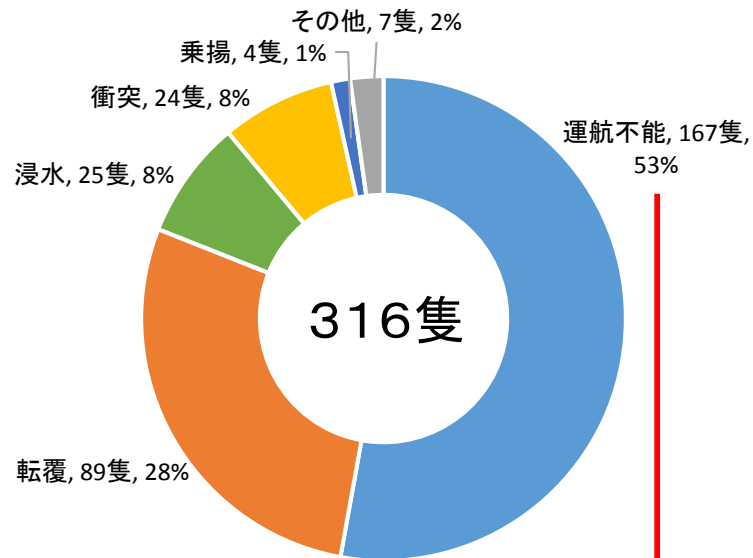
【月別事故発生状況 (H25-29累計)】



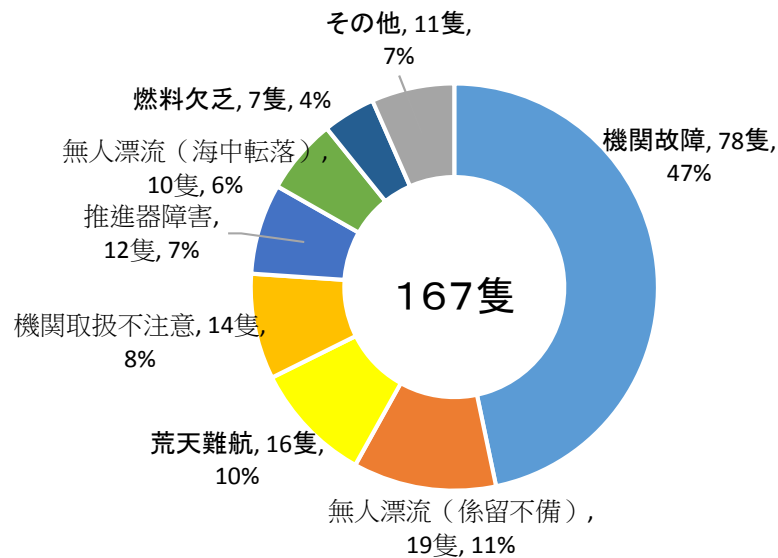
➤ ミニボートの事故は年々増加傾向

➤ 月別では5月及び秋季に事故が多い傾向

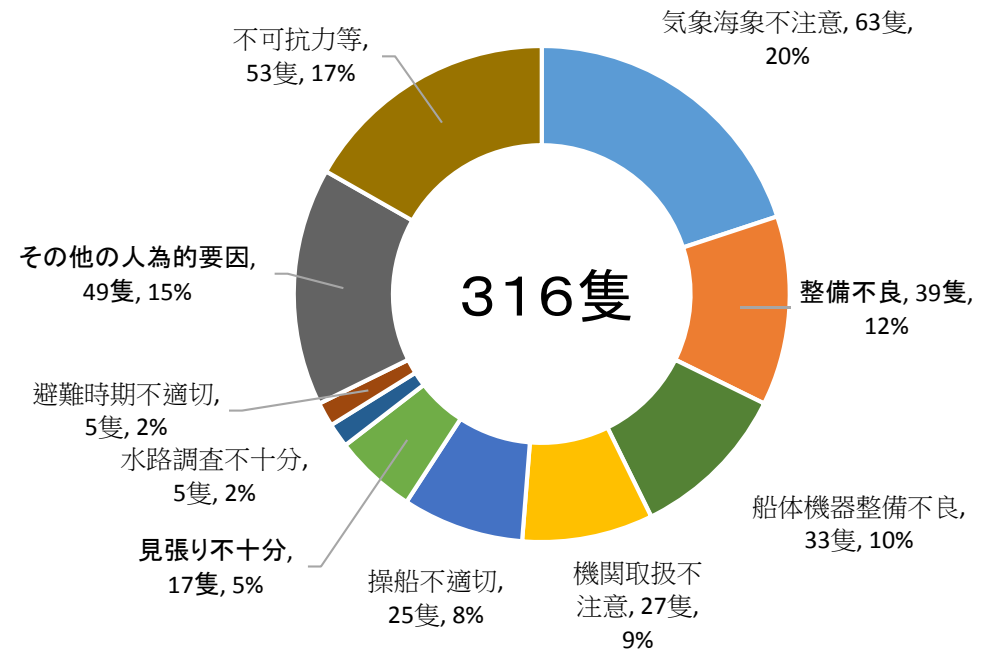
【海難種類別事故発生状況（H25-29累計）】



【運航不能詳細（H25-29累計）】



【原因別事故発生状況（H25-29累計）】

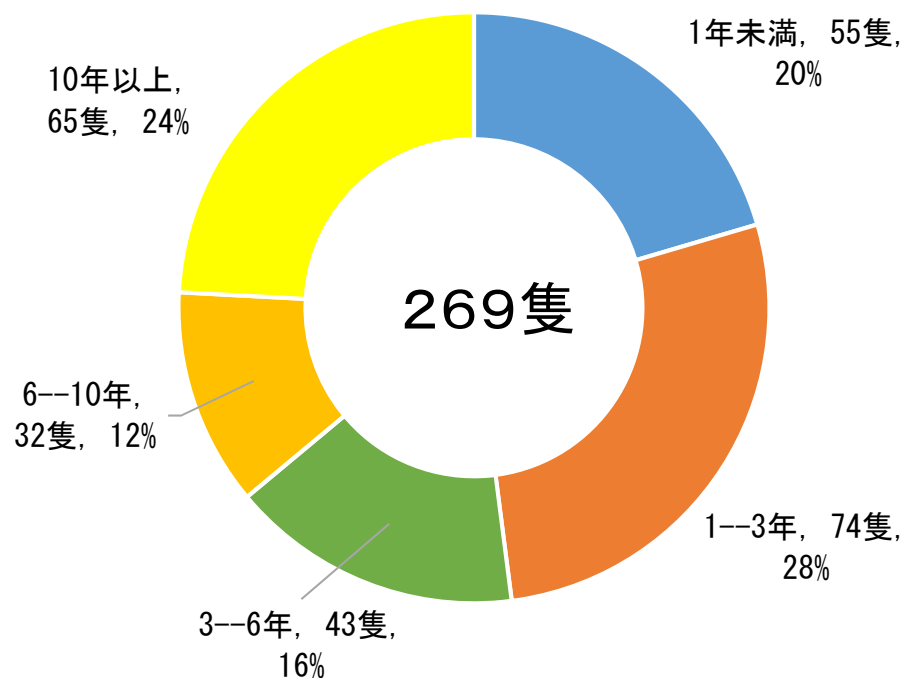


➤ 海難原因別では転覆や浸水の人的要因となる気象海象不注意が最も多く、次いで機関整備不良の順

➤ 海難種類別では運航不能が最も多い

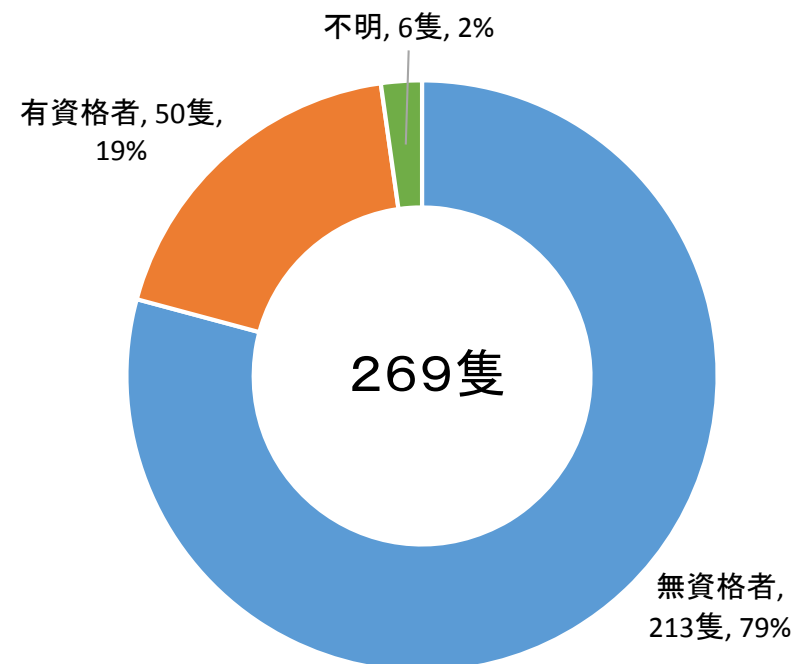
【事故者の通算乗船年数（H25-29累計）】

※無人漂流・不明を除く



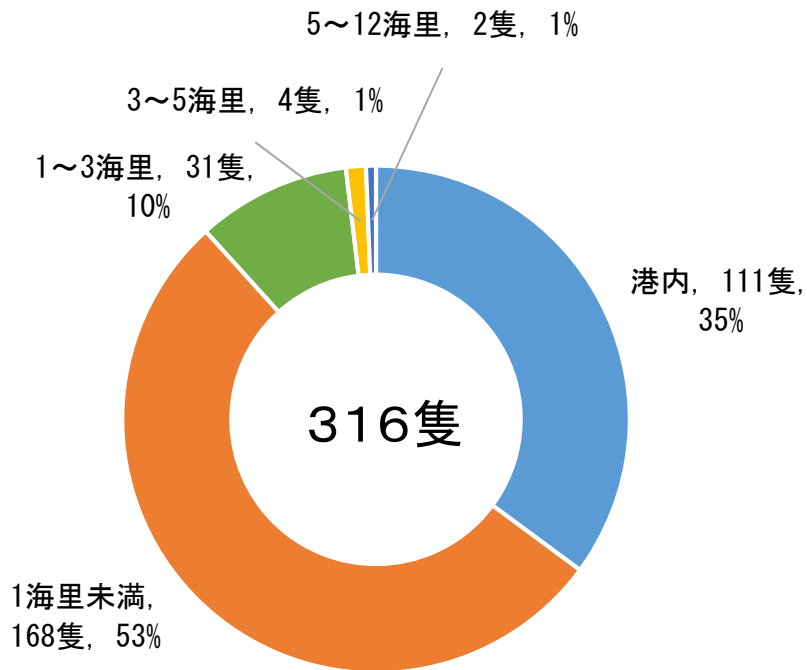
- 通算乗船年数が3年未満の経験不足と思われる者が約半数

【事故者の免許保有状況（H25-29累計）】



- 事故者の約8割が無資格者

【距岸別事故発生状況（H25-29累計）】

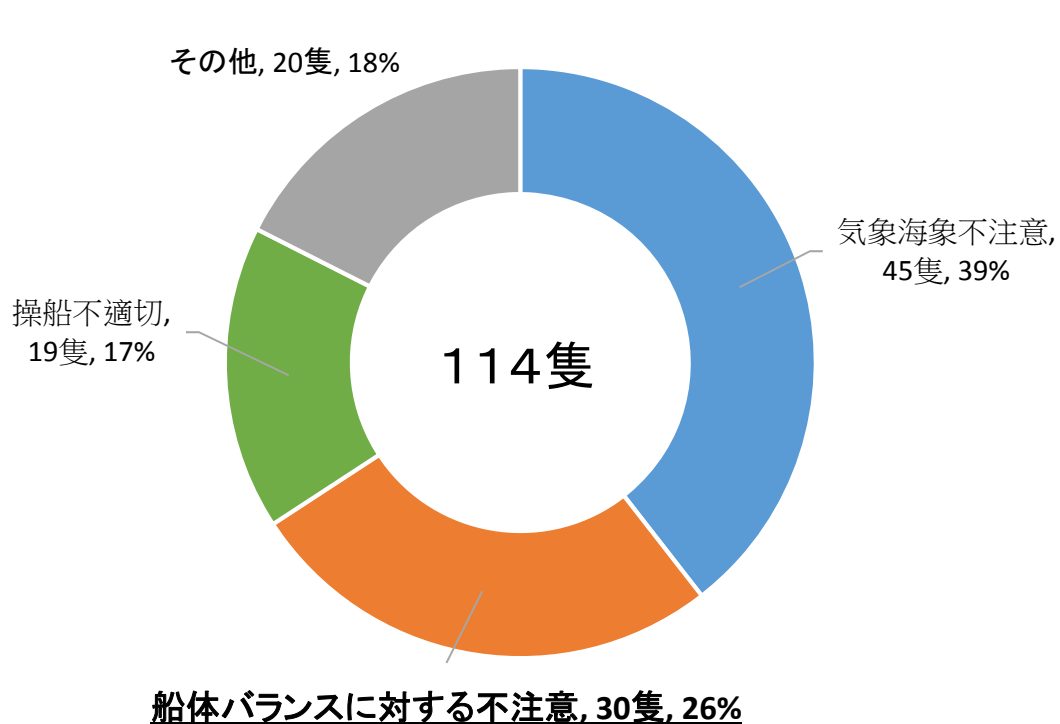


➤ 事故発生場所は港内と1海里未満で約9割

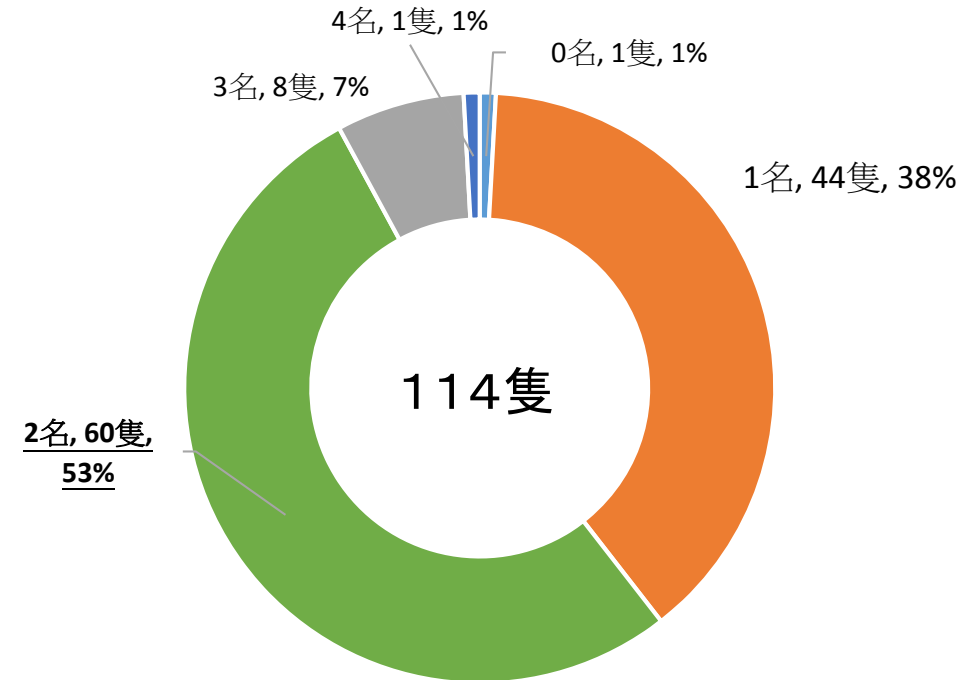
【発生位置図（H25-29）】



【原因別事故発生状況（H25-29累計）】



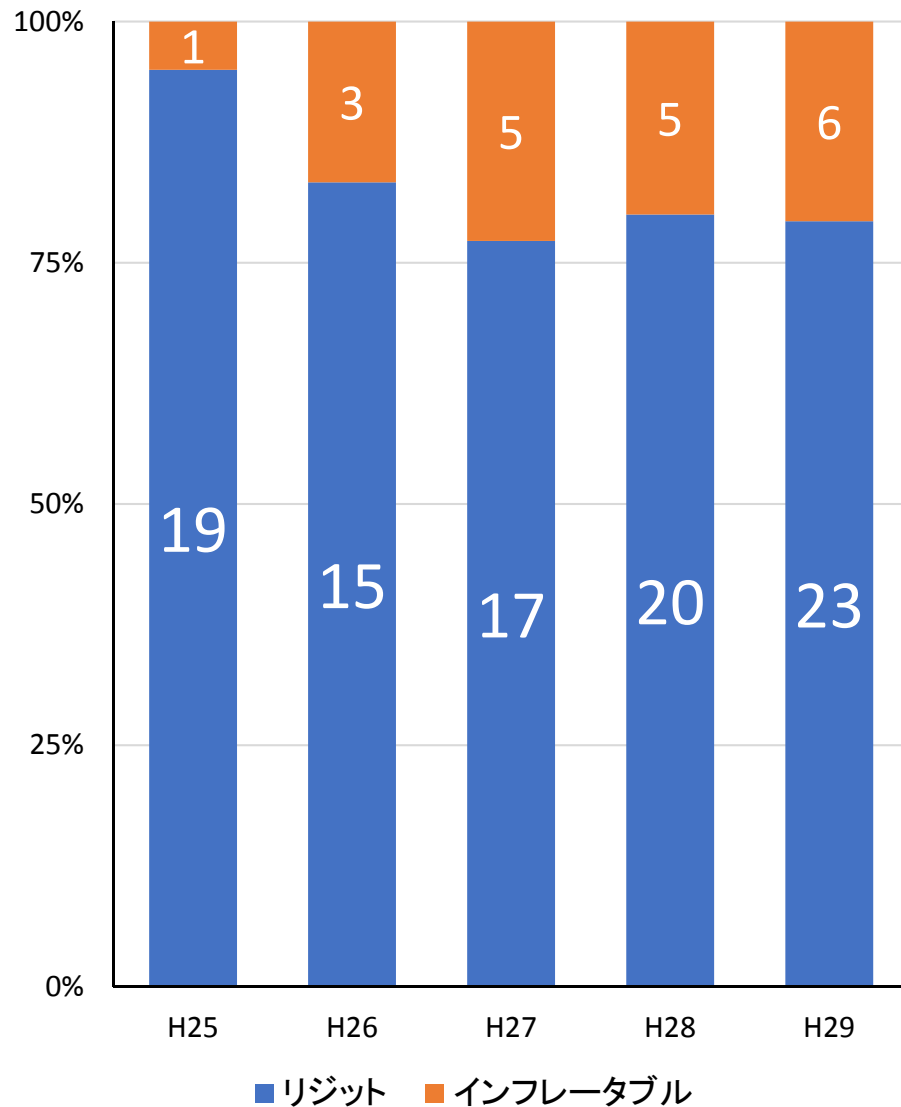
【乗船者数別事故発生（H25-29累計）】



➤ 乗船者が不用意な立ち上がりや移動等により船体バランスが崩れ海中転落した割合は、全体の約3割

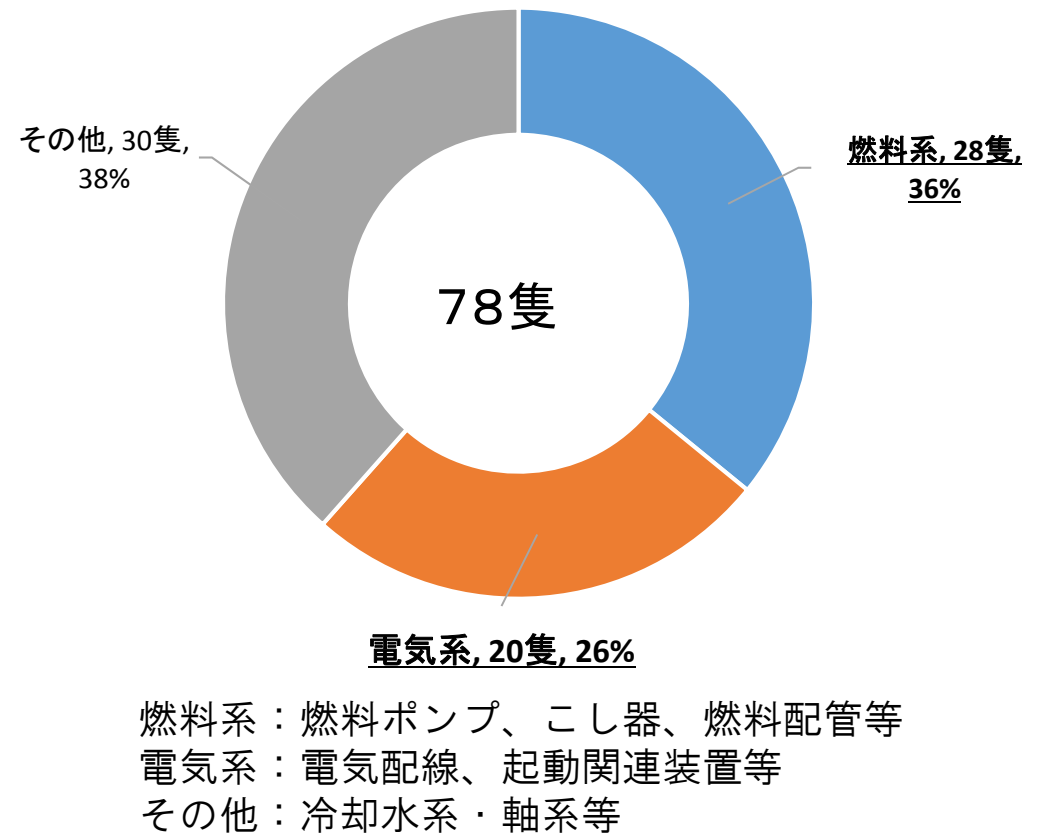
➤ 転覆、浸水は2名乗船時に最も多く発生

【転覆・浸水事故の船質別発生状況】



➤ 例年、転覆・浸水事故の約8割がリジットタイプ

【機関故障箇所別発生状況（H25-29累計）】



➤ 機関故障による運航不能事故のうち、約4割が燃料系、また、約3割が電気系